

JIHS 国立感染症研究所サーベイランスオフィサープログラム
(Surveillance Officer Program/ SCOP) 実施要項



2025 年 10 月 15 日

1. プログラムの方向性

COVID-19 パンデミックの経験は、自治体で感染症アセスメントができる人材開発の必要性を改めて浮き彫りにした。特に感染症サーベイランスは、リスクアセスメントと対応を行う際の基盤的な情報システムであり、精通した専門的人材の育成の意義は大きい。さらに、このような人材をハブとして中央感染症情報センターと地方感染症情報センターとのネットワーク強化は我が国の感染症対策に大きく資するものと考えられる

2. 目的

感染症対策を進めていく上で基盤的な情報システムの 1 つである感染症サーベイランスに関する専門的な知識を有する人材（サーベイランスオフィサー）を育成するために、感染症サーベイランスに関する一般的な事項から最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得させる

3. プログラム全体の概要

感染症サーベイランスに関する集中研修（2 週間）および研修生と感染研職員による SCOP ネットワークへの参加

4. プログラムの参加要件

自治体職員で感染症サーベイランス業務を担当しているあるいは興味があり、所属する自治体から本プログラムへの参加が認められていること

終了後も継続して SCOP ネットワークに参加する意思があること

参加要件ではありませんが、マイクロソフトエクセルで集計、グラフ化ができるくらいのスキルがないと 2 週目の講義（解析ソフトの使い方）および実習は難しいと思います。不明な点がありましたら、ご連絡いただければと思います。

5. 集中研修プログラムの概要

日程：2026 年 1 月 19 日（月）から 1 月 30 日（金）の 2 週間（予定）

時間：9:00～15:00（50 分×4 コマ/日）

定員：50 名

方式：対面およびオンラインによるハイブリッド形式

会場：JIHS 国立感染症研究所

6. 集中研修プログラムの構成

感染症サーベイランスに関する基礎知識の習得

データ収集・整備技術の習得と異常検知の演習

サーベイランスデータアセスメントの習得と情報還元の演習

サーベイランスオフィサーネットワークの構築

7. 集中研修プログラム（暫定版、トピックス別）

感染症の基礎知識

感染症疫学の基礎知識

感染症法について

感染症の検査法

サーベイランス総論

我が国のサーベイランスの仕組み

サーベイランスデータの還元

ワクチン予防疾患

薬剤耐性菌

消化器感染症

呼吸器感染症

性感染症

災害時の感染症サーベイランス

動物由来感染症・節足動物媒介感染症

輸入感染症

感染症と検疫

解析ソフトの使い方

データサイエンスへの橋渡し

リスクコミュニケーション

サーベイランス評価

感染症サーベイランスとしての情報活用

サーベイランスアセスメント実習

サーベイランス還元実習

8. 今後のスケジュール（暫定版）

11 月上旬 開催案内を送付、受講者募集開始

12 月中旬 受講者申込締め切り（※開催日の 1 か月前程度）

12 月下旬 受講者への通知メール配信（※開催日の 3 週間前程度）

1 月 19 日～1 月 30 日 講習開催

9. 申し込み方法

指定のフォームよりお申し込みください（リンクは 11 月上旬にお知らせします）。

申し込み締め切り: **2025 年 12 月中旬**

10. 注意事項

集中研修において、講義形式の研修については対面およびオンライン参加のハイブリッドとさせていただきます。2日間にわたる実習については基本的に対面のみの参加となります。1月28日（水曜日）午後および29日（木曜日）午前中での5コマを現時点では予定しています。

研修プログラムに参加されない方にも講義形式の研修についてはオンラインでの参加を受け付けます。ただし事前登録制といたします。Zoomリンクの共有はお控えください。

定員を超えた場合には、地域での自治体のばらつきを踏まえた調整させていただくことがあります

今年度はサーベイランスオフィサープログラム参加に関する費用はかかりません。対面参加にかかる交通費や宿泊費などは支給いたしませんので、各自で準備ください。

集中研修を修了された方には、サーベイランスオフィサープログラムの情報管理システムに引き続き参加できるようにアカウントを付与（継続）いたします。また修了書を発行いたします。

感染症対策や感染症集団発生に対応する短期研修プログラムなどをすでに受講された方の参加を妨げるものではありませんが、プログラムの目的と集中研修の構成をよくご確認ください。

11. 問い合わせ先

プログラム全般に関する問い合わせ

国立感染症研究所感染症サーベイランス研究部

情報管理研修室（担当：神垣、稲葉）

電話: 03-5285-1111

メール: scopout@nih.go.jp